

第 28 回大分 NST 研究会を終えて

平成 31 年 1 月 12 日（土曜日）に別府市公会堂に於いて第 28 回大分 NST 研究会を開催しました。お足元の悪い中大勢の皆様にご参加頂き誠に有り難うございました。

今回は「理想の地域栄養管理体制を確立するためには」をメインテーマとして、各施設での NST に対する取り組み、各施設間の栄養療法を介したシームレスな関係作りのための工夫や取り組み、NST 活動における課題点、NST 活動時の難渋した症例等を中心に深く議論をする場になればとのメッセージを込めていました。

一般演題は 6 人の先生方にご発表頂きました。中津市中津市民病院の田中志保先生、敬和会大分岡病院の江藤咲先生、大分県立病院の白井範子先生、帰巖会みえ病院の安部幸先生、大分県済生会日田病院の長尾智恵子先生、老人保健施設ウェルハウスしらさぎの大村由香里先生にご発表頂きました。症例報告、統計手法を用いた研究発表、各施設での特徴的な NST 活動への取り組み等、いずれの発表にも施設毎の工夫があり、これからの円滑な NST 活動へのヒントが散りばめられていたと思います。

基調講演は大分県済生会日田病院の中村芳明先生にご講演をして頂きました。「癌治療における口腔内ケアの重要性について」がテーマでしたが、癌に対する外科的治療（手術）時は勿論のこと、化学療法時や放射線療法時も治療施行前の適切な口腔内ケアが治療施行後の口腔内トラブルや誤嚥性肺炎の抑制につながることをご教授頂きました。また最近多い口腔内のトラブルとして骨粗鬆症薬関連の病気が多いことや一般歯科（かかりつけ歯科医）を持つことの重要性等幅広くご講演をして頂きました。

特別講演は藤田医科大学医学部 外科・緩和医療学講座の東口高志先生に「Beyond The NST -わが国に栄養療法の基盤を造る-」というテーマでご講演をして頂きました。わが国における NST 活動普及の立役者である東口先生が、どのようにして NST の必要性を認識され、NST 活動の基盤を造り、国に認めさせ、栄養療法のパラダイムシフトを起こしてきたのかお話をされました。さら

に今後の目標として NST + WAVES(We Are Very Educators for Society)を基盤とした「社会栄養学」の構築、「食力」の増進、食を通したサルコペニアの予防への取り組みをお話いただきました。どの話も大変機知に富んでおり、大変刺激を受けました。東口先生は常に我々の少し先のわが国の未来を見ておられ、これからも引き続き先生から多くのことを学んでいかなければならないと感じました。我々も目の前の NST 活動の地道に行ったり、WAVES 活動を行ったりすることで、超高齢化社会における栄養療法を有効活用した医療の形を模索し続けていかなければなりません。

最後になりましたが本研究会の実施にあたりご協賛頂きました大塚製薬会社の皆様、事務局を始めご尽力頂きました関係者の皆様に御礼申し上げます。

文責 第 28 回大分 NST 研究会当番世話人 大分県済生会日田病院 打和大幹



当番世話人；済生会日田病院 打和先生挨拶



基調講演；済生会日田病院 中村先生



特別講演；藤田医科大教授 JSPEN 理事長 東口高志先生



次

次回当番世話人；コスモス病院 小川先生挨拶



済生会日田病院 林田院長 特別講演講師 東口先生 当番世話人 打和先生



おいしい料理、普段聞けない話。

アルコールも入りそれぞれの熱い思いを語り合った懇親会。

とっても楽しい会でした。

東口先生、大分 NST 研究会でのご講演、誠にありがとうございました。